

⑤日本分類

84 C 51
89(2) A 411

①日本国特許庁

公開実用新案公報

庁内整理番号 6581-36
6691-22

①実開昭49-91096

④公開 昭49(1974).8.7

審査請求 未請求

⑤船舶窓用ロック

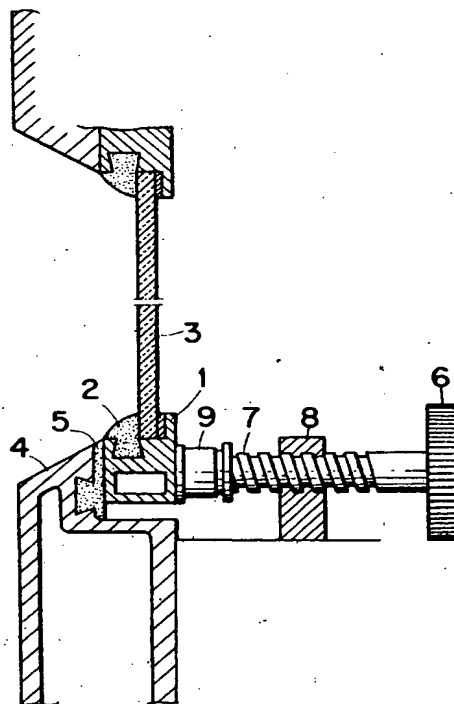
- ①実 願 昭47-137073
②出 願 昭47(1972)11月30日
③考 案 者 引地久人
三原市鷺浦町441
④出 願 人 株式会社共立機械製作所
三原市皆実町1176の2
⑤代 理 人 弁理士 龍野秀雄

⑥実用新案登録請求の範囲

窓の内側にスクリーボルトを回転に伴つて前進後退自在に設置し、該ボルト先端には弾性材による加圧筒を固着したことを特徴とする船舶窓用ロック。

図面の簡単な説明

図は本考案に係る船舶窓用ロックの一実施例の説明図であり、図中1は窓枠、7はボルト、9は合成樹脂製加圧体を示す。





実 用 新 案 登 録 願 ()

特許庁長官 三 宅 幸 夫 殿 昭和47年11月30日

1. 考案の名称

センベクマドヨウ
船舶窓用ロック

2. 考 案 者

住 所 ミヘラシサキウラチヨウ
広島県三原市鷺浦町441番地

氏 名 ヒキ チ ヒサ ト 他 名
引 地 久 人

3. 実用新案登録出願人

住 所 (居 所) ミヘラシミナミチヨウ
広島県三原市皆実町1176番地の2

氏 名 (名 称) キョウリン キカイセイサクショ
株式会社 共立機械製作所

代 表 者 イケ ウチ ヨシ ト 他 名
池 内 義 人

4. 代 理 人 住 所 東京都千代田区内幸町2-1-1(飯野ビル) T100

電話東京(502)3171(代表)

氏 名 (6069) 弁理士 瀧 野 秀 雄

5. 添付書類の目録

- | | | | |
|-----|---------|---|---|
| (1) | 明 細 書 | 1 | 通 |
| (2) | 図 面 | 1 | 通 |
| (3) | 願書副本 | 1 | 通 |
| (4) | 委 任 状 | 1 | 通 |
| (5) | 出願審査請求書 | 1 | 通 |

明 細 書

1. 考案の名称

船舶窓用ロック

2. 実用新案登録請求の範囲

窓の内側にスクリューボルトを回転に伴つて前進後退自在に設置し、該ボルト先端には弾性材による加圧筒を固着したことを特徴とする船舶窓用ロック。

3. 考案の詳細な説明

本考案は船舶用アルミ窓の締め付け用ロックに関するものである。

船舶の窓には落し窓や内開き窓、引違い窓等が採用されているが、いかなる構造の窓にあつても外部からの風雨、波浪に耐え得なければならぬことは勿論、水筒や水分が室内に投入し

ない構造でなければならない。

その為にねじロック等で締め付ける構造が用いられているが、ねじロックにあつてはアルミ製ガラス枠に直接締め付けると傷が付く為にあえてステン板等を介在せしめこれを当板としてねじロックを押圧する構成になつている。

本考案はかかる点を改善せんとして為されたものであつて、その目的とするところは、枠材を損傷せずに直接ロックすることの出来る船舶窓用ロックを提供するにある。

本考案の他の目的とするところは、一旦締め付けると以降のねじのゆるみを防止することの出来る船舶窓用ロックを提供するにある。

上記目的を達成し得る本考案の一実施例を図面と共に説明すれば、(1)はアルミ製の角形の窓

枠であり、外側に弾性縁取り材(2)を設けることによつて板ガラス(3)を固着する。

一方(4)は窓枠(1)を取り付ける外枠であり、直接外部からの風雨や波のしぶきを常に受けている。

而して外枠(4)の内側にはパッキン材(5)を固着して閉窓したときに窓枠(1)が摺接する如く構成する。

一方(6)はねじロックの回転板であり、その中央にボルト(7)を固着し、該ボルト(7)は窓枠(1)内側に設けた受台(8)に嵌合する。

而してボルト(7)の先端には合成樹脂、ゴム等の弾性体で製作した加圧筒(9)を固定し回転板(6)の回転に従つてボルト(7)は前後進しその先端の加圧筒(9)が下側の窓枠(1)に圧着し或は融介する

如く構成する。

上記の構成において落し窓を持ち上げて閉窓し、ねじロックの回転板(6)を回転して加圧筒(9)を窓枠(1)に向けて推進せしめる。

しかるときは加圧筒(9)は弾性材質であつて、多少のたわみ性を有する為にアルミ製窓枠(1)に何等損傷を加えることなく充分な加圧を行なうことが出来る。

本考案は上記した如くなるから窓枠(1)は外枠(4)のパッキン材(5)へ内側から強固に圧着され風雨やしぶきの浸入を防止出来る。

更に弾力的に締め付け得ることによつてボルト(7)は充分に受台(8)とかみ合い振動によつてもゆるむことがない等の効果を有する。

なお以上は引落し窓について述べたが、引き

ちがい窓、内開き窓とも同様に利用出来るのは
勿論である。

4. 図面の簡単な説明

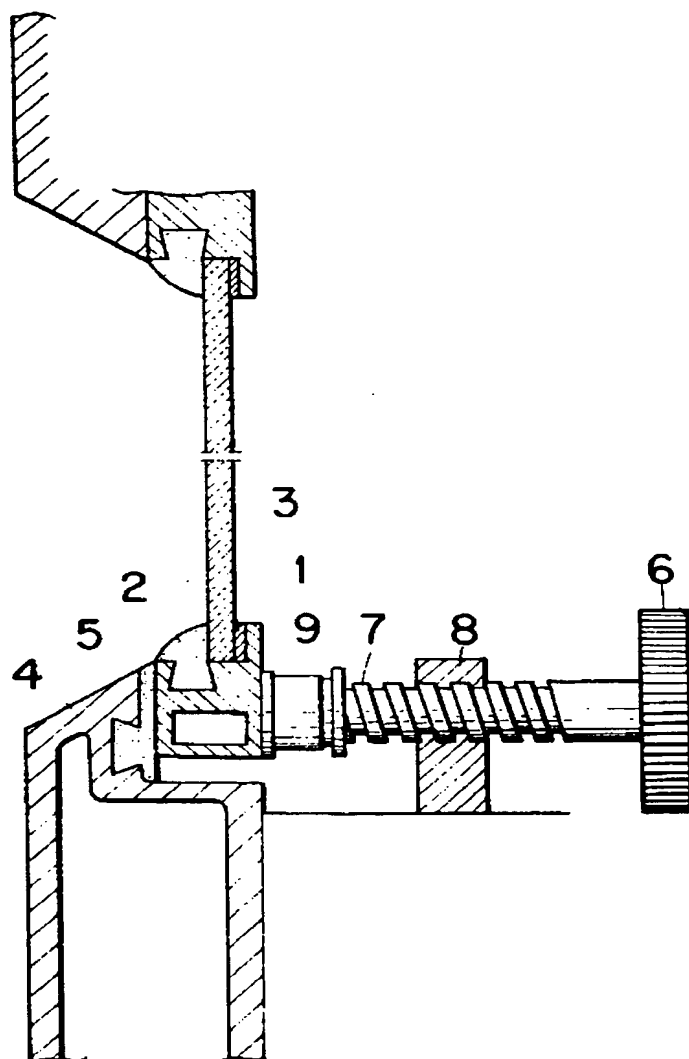
図は本考案に係る船舶窓用ロックの一実施例
の説明図であり、図中(1)は窓枠、(7)はボルト、
(9)は合成樹脂製加圧体を示す。

実用新案登録
出 願 人

株式会社 共立機械製作所

代 理 人

池 野 秀 雄



实用新案登録出願人 株式会社共立機械製作所
代理人 瀧野秀雄

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS

☒ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

☐ FADED TEXT OR DRAWING

☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

☐ SKEWED/SLANTED IMAGES

☒ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☒ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.